

平成29年6月28日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総部
広報・渉外課長

宮崎大学硬式野球部の台湾における交流戦の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年3月、宮崎大学と国立嘉義大学（台湾）が大学間学術交流協定及び学生交流覚書を締結したことをうけ、この度、両大学硬式野球部の交流戦を下記のとおり実施することとなりました。

同大学は、大ヒットした台湾映画「KANO」でも広く知られている台湾公立嘉義農林学校を前身に持つ大学です。交流戦では「甲子園」をキーワードに、全国高等学校野球選手権大会（甲子園）での審判経験がある **Sujeewa Wijayanayake** 氏が審判を務めることとしており、野球を通じたさらなる友好関係の構築を目的としています。宮崎大学では、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、様々な切口からの国際交流を実施し、未来を担う若い世代に貴重な経験を与えていきます。

つきましては、選手達の交流の様子等を取材していただければ幸いに存じます。

敬具

記

- | | |
|---------|--|
| 1. 会場 | 嘉義市立棒球场（Chiayi City Baseball Stadium）
（住所：嘉義市東區山仔頂249-1號） |
| 2. 日時 | 交流試合① 8月7日（月）17：00～
交流試合② 8月8日（火）17：00～ |
| 3. 参加学生 | 23名（宮崎大学硬式野球部学生） |
| 4. 引率 | 7名（池ノ上學長、水光理事ほか5名） |
| 5. 審判員 | 1名（国際審判員 Sujeewa Wijayanayake 氏） |
| 6. 交通手段 | 飛行機（宮崎⇄台湾）、貸切バス（台湾国内） |
| 7. 日程 | 別紙のとおり |

台湾映画「KANO」と台湾での野球の歴史について

2014年に初上映され、日本では2015年に公開された。第2次世界大戦以前は、台湾の高校も甲子園に参加していたが、台湾からは1校のみしか出場できなかった。同映画の中で、台湾公立嘉義農林学校野球部監督であった近藤兵太郎氏を演じる永瀬正敏氏は宮崎県出身であり、台湾人選手と日本人選手を平等な環境で育て上げ、台湾大会で優勝し、1931年には甲子園で準優勝を果たす。甲子園で見せた選手達の最後まであきらめない姿勢は、球場に詰めかけた観客に熱い感動を与えたと伝えられている。

この歴史的快挙は、いまでもなお多くの台湾人が「甲子園」を認識していることにつながる。国立嘉義大学には、この歴史的功績をたたえた野球博物館もある。

予 定 表

8月5日（土）

15:30	集合（宮崎空港）
18:35	宮崎発（宮崎空港、チャイナエアラインCI 115便）
19:50	台北着（桃園国際空港）
21:00	台北市内ホテル宿泊（貸切バス）
	夕食（機内）
22:00	夜市（自由行動）

8月6日（日）

午前	台北市内視察（忠烈祠、十份）（終日貸切バス）
12:00	昼食（台北市内）
13:30	台北発
18:00	嘉義大学到着（ゲストハウスチェックイン）
19:00	交流会

8月7日（月）

09:00	キャンパスツアー・嘉義大学周辺視察
13:00	昼食@学生食堂（自由）
17:00	交流試合①



*写真は嘉義市立棒球场

8月8日（火）

09:00	キャンパスツアー・嘉義大学周辺視察
13:00	昼食@学生食堂（自由）
17:00	交流試合②



*写真は嘉義市立棒球场

8月9日（水）

08:00	嘉義大学発（貸切バス）
11:30	桃園国際空港着
14:25	台湾発（桃園国際空港、チャイナエアラインCI 114便）
17:35	宮崎着
18:00	解散